

2026年スプリング・インターンシップテーマ一覧

No.	教員氏名（職名）	日程	実施場所	定員	テーマ名	研究内容	研究室URL等
1	佐藤正樹（教授） 宮川知己（准教授） 大野知紀（助教） Woosub Roh（特任助教）	3月初旬～4月初旬の間の2日間 (日程は希望者との協議の上、決定します)	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	6名	全球非静力学大気モデルNICAMによる数値実験	全球非静力学大気モデルNICAMの方程式系・差分法・構造の理解、およびNICAMを用いた台風等の数値実験、解析を行う。	https://cesd.aori.u-tokyo.ac.jp/satoh/index-j.html https://cesd.aori.u-tokyo.ac.jp/nicam/index.html
2	岡英太郎（教授） 着任予定（准教授）	4月2日～4月3日の2日間	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	3名	海洋物理学入門	海洋物理学の基本について、簡単なデータ解析も交えながら理解してもらうことを目指します。初心者歓迎。希望者は昼休みにサッカーをすることも可能	https://ocg.aori.u-tokyo.ac.jp/member/eoka/index-jp.html
3	小畠 元（教授） 乙坂重嘉（准教授） 栗栖美菜子（講師）	3月初旬～4月初旬の間の1～2日間程度 (日程は希望者との協議の上、多少移動することも可能)	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	5名	海と大気の微量元素分析	海洋と大気における微量元素・同位体の循環についての基本的な知識を学習するとともに、分析法について、実際の分析装置を使用しながら実習を行う。	http://co.aori.u-tokyo.ac.jp/mic/
4	横山祐典（教授） 黒田潤一郎（教授） 平林頌子（准教授） 宮入陽介（特任助教）	3月24日～25日の2日間	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	8名	現在と過去の地球環境の科学	現在および過去の環境やその環境動態の研究について学習するとともに、地球科学的試料を用いた化学分析実習や、肉眼、顕微鏡による観察実習を行う。	http://aces.aori.u-tokyo.ac.jp/yokoyama/ https://kuroda-ofgs.iimdfree.com/
5	狩野泰則（准教授） 小島茂明（教授）	3月2日から3月15日の間の連続する3日間 (日程は希望者との協議の上、決定します)	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	6名	超深海動物の分布を探る	水深6500m以深の超深海にみられる底生動物（ペントス）種は、どのような深度・水平分布をもち、また何がそれらの分布を規定するのか？日本海溝・千島海溝で得られた貝類試料についてDNA配列取得と形態解析を行い、この謎に迫ります。	https://benthos.edu.k.u-tokyo.ac.jp
6	兵藤晋（教授） 神田真司（准教授）	3月後半あるいは4月上旬の間の連続する3日間 (日程は希望者との協議の上、決定します)	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	5名	魚類の生殖を制御するメカニズム：細胞～個体レベルでの解析	サメやメダカなどの魚類を用いて、エコー検査や解剖観察、血中ホルモン濃度の分析、遺伝子組み換え技術・神経・内分泌細胞のリアルタイムイメージングなどを通じて、魚類のホルモンを研究する手法を学ぶ。	http://physiol.aori.u-tokyo.ac.jp/seiri/ http://physiol.aori.u-tokyo.ac.jp/kanda/
7	伊藤幸彦（教授） 伊藤進一（教授）	3月16日～3月31日の間の2日間。 (連続する2日間の場合、3月16日～3月17日、3月25日～3月26日、3月26日～3月27日)	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	6名	海洋環境変動が生態系に与える影響を調べてみよう	海洋環境の変動は、さまざまな側面から生物に影響を与えています。本テーマでは、実際に日本沿岸で生じている問題を題材に、解決方法の検討、環境データの解析、数値シミュレーションの実習等を行います。	http://lmr.aori.u-tokyo.ac.jp/feog/index.html
8	小松幸生（准教授）	3月中旬～4月上旬の間の1～2日間 (日程は希望者との協議の上、決定します)	大気海洋研究所 (柏キャンパス)	5名	海面環境研究のフロンティア	大気海洋界面における素過程、及び気象と生物地球化学循環に与えるインパクトに関して、①最近の研究紹介、②衛星データ解析練習、③モデルシミュレーション練習を行う。海面環境に興味がある方は分野を問わない。	http://lmr.aori.u-tokyo.ac.jp/feog/kosei/
9	早川 淳（准教授）	3月1日～3月15日の間の連続する3日間（3月9日～3月11日を除く） (日程は希望者との協議の上、決定します)	大気海洋研究所 国際・地域連携研究センター 地域連携研究部門 大槌研究拠点 (岩手県大槌町)	3名	アワビ類死殻に残された生態学的情報の分析	東寒帯（三陸沿岸域）および亜熱帯（奄美群島）で得られたアワビ類各種の貝殻を用いて捕食者や餌料、死亡時期などの生態学的情報を推定する方法について実習を行う。	